

5. 韓国



(1) 基本情報

韓国は、国土面積約 10 万km²(日本の 0.25 倍)、人口 4,977 万人の国である。構成民族は、韓民族で、言語は韓国語である。

(2) PDRA について

韓国においては、歯科医師の管理監督機関として、韓国歯科医師会 (KDA : Korean Dental Association)、韓国歯科医学教育評価認証機構 (KIDEE : Korean Institute of Dental Education and Evaluation) が設置されている。

現在、韓国には、11 校の歯科大学が設置されており、4 年制 7 校、6 年制 3 校、4 年制 / 6 年制 1 校となっている。1 学年はおよそ 750 名である。各大学の教育の質保証を行うために、KIDEE が歯科大学評価認証を行っている。

KIDEE は、2007 年に設立された機関であり、政府から独立した組織ではあるが、韓国教育科学省により認められた歯科医学教育に関する評価認証団体である。韓国の歯科医療の質、研究の質について、より高度な方向性を目指すことを目的としており、質保証を通して、米国、英国の質レベルを目指している。そのために、4 つの委員会、1) 認証委員会、2) 歯科医師免許委員会、3) 卒後教育委員会、4) 生涯教育委員会を設置し、各基準の整備を行っている。免許を得た歯科医師については、KDA への入会は義務であるとのことである。

歯科医師国家試験は、国試験院

(NHPLEB : National Health Personnel Licensing Examination Board) により行われており、国内大学卒業生については、毎年 1 月に行われる試験に対し、卒業あるいは卒業見込みの資格で受験することとなる。試験は、ハングルで行われ、試験科目は、口腔顔面外科学、歯科保存学、歯科補綴学、小児歯科学、口腔顎顔面放射線学、歯周病学、生体材料学、歯科矯正学、口腔病理学、口腔保健学、口腔生物学 (口腔解剖学、口腔生理学、口腔生化学、歯科薬理学、口腔微生物学、口腔組織学等。)、保健医療関連法規となる。2010 年の合格率は、97%であった。(資料 6)

(3) 外国人歯科医師国家試験

韓国厚生労働省 (Ministry of Health and Welfare) により認証された外国大学を卒業した者で、その大学がある国において歯科医師免許を有している者。または、2010 年 5 月 31 日現在、「外国大学認定審議委員会」にて認証された大学の卒業生は、外国人向けの歯科医師国家試験 (歯科医師予備試験) (Preliminary Examination for Korean Dental Licensing Examination) を受験することができる。受験内容は、1) 1 次試験、2) 2 次試験、3) 韓国語試験となっている。

1) 1 次試験においては、2 科目 : MCQ (5 肢) 200 問の筆記試験となっている。試験範囲は、口腔顔面外科学、歯科保存学、歯科補綴学、小児歯科学、口腔顎顔面放射線学、歯周病学、生体材料学、歯科矯正学、口腔病理学、口腔保健学、口腔生物学、保

健医療関連法規等である。

2) 2次試験においては、1科目5問題の臨床実技試験となる。模型、模擬患者等による試験である。

3) 韓国語試験については、韓国教育課程評価院により実施され、5級以上の合格が必要である。

6. オーストラリア



(1) 基本情報

オーストラリアは、約 769 万km²（日本の約 20 倍、アラスカを除いた米国とほぼ同じ）、人口約 2,262 万人の国である。構成民族は、ほとんどがアングロサクソン系、欧州系人であるが、留学生政策、移民政策にも積極的に取り組んだ背景があり、アジア系も多くみられる。言語は英語が使用されている。

(2) PDRA について

オーストラリアにおいては、歯科医師の登録管理監督機関として、Dental Board of Australia (DBA) が設置されている。DBA は、Australian Health Workforce Ministerial Council により、2009 年に設置された機関である。DBA の役割は、

- 1) 歯科医師、歯科学学生、歯科専門医等の歯科医療関係職の登録
- 2) 歯科医療職の基準、規則、ガイドラインの整備
- 3) 歯科医療に関する不満、調査等
- 4) オーストラリアで労働希望の外国人歯科医療関係者の評価
- 5) 評価認証基準の整備

であり、12 人の委員により運営される。

DBA は、各州、領域における行政機関の援助を受けて、その業務を遂行する。運営については、Australian Health Practitioner Regulation Agency (AHPRA) により援助を受けている。

また、オーストラリア評議会 (ADC :

Australia Dental Council) が設置されており、ADC は、DBA の歯科関係プログラム認証を委託された 1993 年設立の外部独立機関である。国家法である「Health Practitioner Regulation National Law Act 2009」によって規定されている。事務局はメルボルンにある。内部組織は、認証委員会 (Accreditation Committee) と試験委員会 (Examination Committee) の 2 つがあり、事務職員 10 名が上記 2 つの委員会の活動を支えている。委員は、大学教員、歯科医師、歯科衛生士等の歯科医療職、一般人である。

ADC 認証済み教育機関を卒業した学生は、卒業後、DBA へ歯科医師登録することができる。2010 年 7 月に、それまで州単位であった歯科登録機関 (Dental Board) が全国区登録となるなど、2010 年を境に歯科医師登録を取り巻く状況は変化しているが、ADC の役割は 2010 年前後で基本的には変わっていない。ADC とニュージーランド歯科評議会 (Dental Council of New Zealand: DCNZ) は、ADC の教育プログラム認証制度をと共に利用することとなり、両国内認証済みプログラムの卒業生はそのまま相互国で登録できることとなっている。現在、ADC の教育プログラム評価認証を受けている大学は、9 大学 11 プログラムである。

現在、卒前歯学教育プログラムは 4 年制、5 年制の両期間のプログラムが存在しているが、評価サイクルは 7 年である (卒前歯学教育プログラム以外は 5 年毎)。2010 年以降、評価・認証の基準 (Standard) と

なるのは、「ACD/DCNZ Accreditation Standards : Education Programs for Dentists」、「Professional Attributes and Competencies of The Newly Qualified Dentist」である。プログラムの評価認証は、1)カリキュラム計画案(レポート)に対する評価、2)訪問調査の2段階である。ADCの役割としては、各大学の設定した教育条件の実施を調査するものである。訪問調査では、3～5人の委員が平均2.5日間の訪問調査を行う。各大学は評価・認証費用をADCに支払い、訪問者の旅費はADCが負担する。歯学部評価に関わる評価者は、各大学教員、開業医が担当するが、評価する側、評価される側が互いに知り合いであることが多く、より公正な態度で接することを心掛けているとのことであった。認証のレベルは「認証(Accreditation)」、「条件付き認証(Accreditation with Conditions)」、「認証不可(Refusal of Accreditation)」の3段階である。新たに設置される大学のプログラムは、すべて「条件付き認証」となる。

このように国内大学についても、厳しく歯科医学教育課程を評価・認証する制度を持っており、教育の質の標準化がなされている。DBAの登録については、教育の質の同位性に基づき、他国大学卒業生の登録が可能となる制度を運用している。

(3) 歯科医師登録制度について

オーストラリアで歯科医業を行うためには、Dental Board of Australia (DBA)

へ登録を行う必要がある。一般歯科医師登録方法については、

- 1) Graduate Resitration (国内)
 - 2) Genral Registration (国内/外国人)
 - 3) Limited Registration (外国人)
- がある。

1) Graduarte Registrationについては、オーストラリア国内大学を卒業する学生が行う手続きであり、各学生がオンラインにて申し込み手続きを行い、各教育期間がAHPRAへ学生が卒業する旨を報告することで、AHPRAが判断を行い、登録が行われる。

2) General Registrationについては、過去に国内、あるいは外国にて、歯科医療職として労働していた場合に行う登録方法である。

外国人歯科医師として、この登録が可能であるのは、

① ニュージーランドにて歯科医籍登録をしている者で、Trans Tasman mutual recognitionにより認められている歯科医師

② 英国、アイルランド、ニュージーランドの歯科学位を保持する歯科医師
英国 (15校)

University of Belfast

University of Birmingham

University of Bristol

University of Dundee

University of Durham

University of Edinburgh

University of Glasgow

University of Liverpool

University of London
University of Manchester
University of Newcastle upon Tyne
University of St. Andrews
University of Sheffield
University of Wales
University of Leeds
アイルランド（2校）
University of Dublin
National University of Ireland
ニュージーランド（1校）
University of Otago

③カナダの歯科医師学位（DDS/DMD）保持者で、追加条件を修了した歯科医師

2010年3月31日以降に、カナダにおいて DDS/DMD を取得した歯科医師であり、追加条件として、カナダでの歯科医師登録条件を満たすために、同等である National Dental Examining Board of Canada (NDEB) へ合格することが必要とされている。

④・外国人歯科医師で、オーストラリアの学位を取得した歯科医師

これは、国内卒業生と同等である。

・ADC による試験に合格した歯科医師
ADC により、「ASSESSMENT OF OVERSEAS QUALIFIED DENTAL PRACTITIONERS」が行われている。
試験プロセスは、以下の4段階である。

パート1 : Initial assessment
パート2 : English language test

パート3 :
Preliminary (written) examination
パート4 : Final (clinical) examination

パート1 : Initial assessment

この審査段階は、提出書面により、これまでの歯科医療における労働状況、登録記録や評判等を判断する。

パート2 :

English language test

International English Language Testing System (IELTS) において、聴き、読み、書き、話しの各項目にて、「7」が必要。

あるいは、Occupational English Test (OET) において、聴き、読み、書き、話しの各項目にて、「A」あるいは「B」が必要。合格記録は2年間有効。ただし、オーストラリア、カナダ、ニュージーランド、アイルランド、南アフリカ、英国、米国にて、中等教育レベルまで英語にて教育課程を修了し、かつ歯科医療職資格を得た者については免除される。

パート3 :

Preliminary (written) examination

この試験では、MCQ（2枚）、およびショートアンサークエスチョン（1枚）が課される。2日間連続で行われる。合格記録は、3年間有効である。

パート4 :

Final (clinical) examination

Clinical Dentistry 1 (CD1)

歯内治療を含む修復治療

固定性義歯治療

小児歯科治療

Clinical Dentistry 2 (CD2)

可綴性義歯治療、治療計画

Clinical Dentistry 3 (CD3)

歯周病治療

口腔外科・診断

口腔放射線

感染対策

矯正治療、病理、薬理、予防等については、各セクションへ含まれる。

年に2度のセッションが組まれており、およそ6ヶ月間となる。MCQ および実際の治療を通して評価が行われる。到達基準は、オーストラリア国内の新卒業生が具備する能力を基準としている。場所は、各大学の附属病院とし、実施内容には、歯周病治療や他治療、X線撮影等が含まれる。

費用は、パート1が610豪ドル、パート3が1,110豪ドル、パート4が6,615豪ドルである。(2012年1月現在)

3) Limited Registration (外国人) については、① Public Sector Dental Workforce Scheme (PSDWS) にて労働する歯科医師、② 卒後研修あるいは管理施設での診療を行う歯科医師に適用される。

① Public Sector Dental Workforce (PSDW) にて労働することを目的する歯科医師で、カナダ、香港、アイルランド、マレーシア、シンガポール、南アフリカ、英国、米国の

ADC に認証された大学を卒業した歯科医師に適用される。(資料7) このカテゴリーへの登録者は、パート3: Preliminary(written) examination が免除される。また、パート4: Final (clinical) examination を受験する場合は、3年以内に受験しなければならない。

② 卒後研修あるいは管理施設での診療を行う歯科医師であり、ADC のリストに掲載されていない大学を卒業した歯科医師は、この登録を行う。公的機関における卒後研修や監督されての診療を行うことができるこのカテゴリーへの登録に際しては、パート3: Preliminary (written) examination の合格が必要である。

D. 考察

本研究においては、東南アジア諸国として、マレーシア、インドネシア、シンガポール、タイ、そして、近隣国として、韓国、オーストラリアの状況を調査した。

まず、報告すべき点は、歯科医師の管理・監督方法について、多くの国が、必要十分な情報を、ホームページ、インターネット上に、英語にて掲載しているということであった。本調査で焦点を合わせている外国人歯科医師の受け入れ体制という点においては、国内向けの情報開示だけでは不十分であり、その点で、外国人を意識した情報提供制度が多くの国で確立されていると思われた。

また、ASEANの歯科医師MRAにリストに掲載されている項目でもあり、各国における専門歯科規制当局（PDRA）について、いわゆる厚生労働省・保健省ではなく、歯科医師の管理・監督を専門とした歯科評議会が設置されている点は、注目すべき点である。

省庁から独立して、歯科医師の免許登録管理を行う団体が存在することで、省庁管轄でありながらも、独立性を保ちながら、歯科医療界、歯科医師の質の管理を実施していることが認められた。

AECブループリント上では、まだ3年間あることから、各国の外国人歯科医師の受け入れ体制については、今後また変化をしていくものと考えられる。これまでの歴史的な国家関係（例）Common Wealth マレーシア、オーストラリア、シンガポール、英国、カナダ等）による外国人歯科医師受

入れ制度が拡充されていることも事実であるが、それ以外の国についても、各国リストを作成し、その受け入れレベルを明示している点は、非常にわかりやすいものである。また、歯科医師不足を生じている国（オーストラリア等）では、登録レベルのコントロールにより、歯科医師不足の地域（Public Sector）に外国歯科医籍歯科医師を送り出す制度もあり、まさに、外国人歯科医師をも考慮した Workforce Planning（労働力計画）が実施されていた。

歯科医師の登録レベルについては、完全な登録とは別に、一時的な登録（教育、研究等のため）や、条件付き登録等、数種の登録レベルを設定している国が多く見られた。一律の完全登録制度ではなく、数種類の登録制度を確立し、運用することで、様々な人材確保という視点での制度活用が可能であると思われた。ASEAN地域における歯科医師の自由移動の活発化については、実際に制度運用がなされ、経済的状況を背景とした動きが生じてからでないと、その将来は見えてこないが、2015年を迎えていない現在でも、マレーシア、シンガポール、オーストラリアでは、多くの外国人歯科医師が、互いに歯科医師資格を行使している事実がある。歯科医師過剰と言われている我が国ではいまだ現実味がない話題ではあるが、優秀な人材、歯科医師を確保することで、当該国の歯科医療が、臨床、研究、教育の質向上に寄与することを考えると、2015年以降の実移動の把握、また、本邦に来る留学生の質の調査等、進めるべき調査活動は多くあると思われた。

いずれにしても、各国の PDRA 担当者と直接話を行うことができる担当者、担当部署を、我が国で整備し、できるだけ早急に議論への参加をしてもらうことを願うところである。

現在、米国との貿易関連の話題でもある環太平洋戦略的経済協定（TPP：Trans-Pacific Strategic Economic Partnership Agreement）においても、外国人歯科医師の本邦への流入の話題が出る。国際的な質標準、基準をいかに策定していくか、というプロセスを考えると、本調査で得られた情報を活用し、我が国の歯科医師国家試験の在り方、保険医療制度における社会保険医の在り方を議論し、早めに国際的な議論を主導的に推し進める立場となる準備を行うことが必要であると思われた。

E. 結論

東南アジア諸国を中心に、韓国、オーストラリアにおける歯科医師の管理・監督制度、外国人歯科医師の受入制度を調査したところ、多くの国で、専門歯科規制当局（PDRA）が、その制度運用を担っており、それらに関わる情報が、外国人に対し伝達されやすい状態で、周知されている状況がわかった。歯科医師登録のレベルについては、完全登録、条件付き登録、仮登録等の制度があり、各国でその手続き、プロセスは異なることもあったものの、いずれの登録についても、明確に制度化されているものであった。これらの結果より、本邦の歯科医師管理・監督方法について、将来の経

済連携協定を見据えた、真の国際化に対応できるような制度設計をするために、現制度を早急に再考することが必要であると考えられた。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

日本歯科医学教育学会雑誌
投稿中

2. 学会発表

2012年7月6、7日

日本歯科医療管理学会
沖縄大会にて発表予定

オーストラリアにおける歯学教育管理
制度に関する研究

発表者 鶴田 潤

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

資料集

資料 1

ASEAN Mutual Recognition Arrangement on Dental Practitioners

PREAMBLE

The Governments of Brunei Darussalam, the Kingdom of Cambodia, the Republic of Indonesia, the Lao People's Democratic Republic, Malaysia, the Union of Myanmar, the Republic of the Philippines, the Republic of Singapore, the Kingdom of Thailand, and the Socialist Republic of Viet Nam, Member States of the Association of South East Asian Nations (hereinafter collectively referred to as ASEAN or ASEAN Member States or singularly as ASEAN Member State);

RECOGNISING the objectives of the ASEAN Framework Agreement on Services (hereinafter referred to as AFAS), which are to enhance cooperation in services amongst ASEAN Member States in order to improve the efficiency and competitiveness, diversify production capacity and supply and distribution of services of their services suppliers within and outside ASEAN; to eliminate substantially the restrictions to trade in services amongst ASEAN Member States; and to liberalise trade in services by expanding the depth and scope of liberalisation beyond those undertaken by ASEAN Member States under the General Agreement on Trade in Services (hereinafter referred to as GATS) with the aim to realising free trade in services;

RECOGNISING the ASEAN Vision 2020 on Partnership in Dynamic Development, approved on 14 June 1997, which charted towards the year 2020 for ASEAN the creation of a stable, prosperous and highly competitive ASEAN Economic Region which would result in:

- free flow of goods, services and investment;
- equitable economic development, and reduced poverty and socio-economic disparities; and
- enhanced political, economic and social stability;

NOTING that Article V of AFAS provides that ASEAN Member States may recognise the education or experience obtained, requirements met, or licences or certifications

資料 1

granted in another ASEAN Member State, for the purpose of licensing or certification of service suppliers;

NOTING the decision of the Bali Concord II adopted at the Ninth ASEAN Summit held in 2003 calling for the completion of Mutual Recognition Arrangements (hereinafter referred to as MRAs or singularly as MRA) for qualifications in major professional services by 2008 to facilitate free movement of professionals/skilled labour/talents in ASEAN; and

PROVIDING an MRA for Dental Practitioners that would strengthen professional capabilities by promoting the flow of relevant information and exchange of expertise, experiences and best practices suited to the specific needs of ASEAN Member States;

HAVE AGREED as follows:

ARTICLE I OBJECTIVES

The objectives of this MRA are to:

- 1.1 facilitate mobility of dental practitioners within ASEAN;
- 1.2 exchange information and enhance cooperation in respect of mutual recognition of dental practitioners;
- 1.3 promote adoption of best practices on standards and qualifications; and
- 1.4 provide opportunities for capacity building and training of dental practitioners.

ARTICLE II DEFINITIONS

In this MRA, unless the context otherwise requires:

- 2.1 Dental Practitioner refers to a natural person who has completed the required professional dental training and conferred the professional dental qualification; and has been registered and/or licensed by the Professional Dental Regulatory Authority in the Country of Origin as being technically, ethically and legally qualified to undertake professional dental practice.

資料 1

2.2 Specialist refers to a Dental Practitioner who has the dental specialist training and postgraduate qualification(s) that are recognised by the Country of Origin and has been registered and/or licensed as a specialist if such registration is applicable in the Country of Origin;

2.3 Foreign Dental Practitioner refers to a Dental Practitioner including Specialist who holds the nationality of an ASEAN Member State, registered to practise dentistry in the Country of Origin and applying to be registered/licensed to practise dentistry in the Host Country.

2.4 Registration refers to registering and/or certifying and/or licensing of the Dental Practitioner within a jurisdiction or may refer to the issuance of a certificate or licence to a Dental Practitioner who has met or complied with specified requirements for registration to practise dentistry in the Country of Origin and/or Host Country.

2.5 Country of Origin refers to the ASEAN Member State where the Dental Practitioner has a current and valid registration to practise dentistry.

2.6 Host Country refers to the ASEAN Member State where a Foreign Dental Practitioner applies for registration to practise dentistry.

2.7 Professional Dental Regulatory Authority (hereinafter referred to as PDRA) refers to a body vested with the authority by the government in each ASEAN Member State to regulate and control Dental Practitioners and their practice of dentistry. PDRA in this context refers to the following:

Member State PDRA Brunei Darussalam Brunei Medical Board Cambodia Cambodian Dental Council and Ministry of Health Indonesia Indonesian Medical Council and Ministry of Health Lao PDR Ministry of Health Malaysia Malaysian Dental Council Myanmar Myanmar Dental Council, Ministry of Health Philippines Professional Regulation Commission, Board of Dentistry and Philippine Dental Association Singapore Singapore Dental Council and Dental Specialists Accreditation Board Thailand Thailand Dental Council and Ministry of Public Health Viet Nam Ministry of Health

資料 1

2.8 Domestic Regulations include laws, by-laws, regulations, rules, orders, directives and policies relating to the practice of dentistry issued by the PDRA and/or relevant authorities.

2.9 Continuing Professional Development (hereinafter referred to as CPD) is the means by which members of the dental profession maintain, develop or improve their knowledge, skills and professional performance.

ARTICLE III RECOGNITION AND ELIGIBILITY OF FOREIGN DENTAL PRACTITIONERS

3.1 Recognition of a Foreign Dental Practitioner

A Foreign Dental Practitioner may apply for registration in the Host Country to be recognised as qualified to practise dentistry in the Host Country in accordance with its Domestic Regulations and subject to the following conditions:

3.1.1 in possession of a dental qualification recognised by the PDRA of the Country of Origin and Host Country;

3.1.2 in possession of a valid professional registration and current practising certificate to practise dentistry issued by the PDRA of the Country of Origin;

3.1.3 has been in active practice as a general Dental Practitioner or specialist, as the case may be, for not less than five (5) continuous years in the Country of Origin;

3.1.4 in compliance with CPD at satisfactory level in accordance with the policy on CPD mandated by the PDRA of the Country of Origin;

3.1.5 has been certified by the PDRA of the Country of Origin of not having violated any professional or ethical standards, local and international, in relation to the practice of dentistry in the Country of Origin and in other countries as far as the PDRA is aware;

3.1.6 has declared that there is no investigation or legal proceeding pending against him/her in the Country of Origin or another country; and

資料 1

3.1.7 in compliance with any other assessment or requirement as may be imposed on any such applicant for registration as deemed fit by the PDRA or other relevant authorities of the Host Country.

3.2 Eligibility of a Foreign Dental Practitioner

A Foreign Dental Practitioner who satisfies the above conditions shall be recognised as qualified to practise dentistry in the Host Country.

3.3 Undertaking of a Foreign Dental Practitioner

A Foreign Dental Practitioner who is allowed to practise dentistry in the Host Country shall be subjected to Domestic Regulations and conditions which include but are not limited to the following:

3.3.1 to be bound by Professional and Ethical Codes of Conduct and standards of dental practice imposed by the PDRA of the Host Country;

3.3.2 to be bound by prevailing laws of the Host Country;

3.3.3 to subscribe to any requirement for insurance liability scheme in the Host Country;
and

3.3.4 to respect the culture and religious practice of the Host Country.

ARTICLE IV PROFESSIONAL DENTAL REGULATORY AUTHORITY

4.1 Subject to Domestic Regulations, the PDRA of the Host Country shall:

4.1.1 evaluate the qualifications, training and experiences of the Foreign Dental Practitioners;

4.1.2 impose any other requirement or assessment for registration where applicable;

4.1.3 grant recognition and register eligible Foreign Dental Practitioners to practise dentistry in the Host Country; 4.1.4 monitor and assess the compliance of the registered

資料 1

Foreign Dental Practitioners' practice and conduct in accordance with the Professional and Ethical Codes of Conduct and standards of dental practice of the Host Country; and

4.1.5 take necessary actions in the event any registered Foreign Dental Practitioner failed to practise in accordance with the Professional and Ethical Codes of Conduct and standards of dental practice of the Host Country.

ARTICLE V RIGHT TO REGULATE

This MRA shall not reduce, eliminate or modify the rights, power and authority of each ASEAN Member State, its PDRA and other relevant authorities to regulate and control dental practitioners and the practice of dentistry. ASEAN Member States, however, should undertake to exercise their regulatory power reasonably and in good faith for this purpose without creating any unnecessary barriers to the practice of dentistry.

ARTICLE VI ASEAN JOINT COORDINATING COMMITTEE ON DENTAL PRACTITIONERS

6.1 An ASEAN Joint Coordinating Committee on Dental Practitioners (hereinafter referred to as AJCCD) shall be established comprising of not more than two (2) appointed representatives from the PDRA of each ASEAN Member State with the following terms of reference:

6.1.1 to facilitate the implementation of this MRA through better understanding of the Domestic Regulations applicable in each ASEAN Member State and in the development of strategies for the implementation of this MRA;

6.1.2 to encourage ASEAN Member States to standardise and adopt mechanisms and procedures in the implementation of this MRA;

6.1.3 to encourage the exchange of information regarding laws, practices and developments in the practice of dentistry within the region with the view of harmonization in accordance with regional and/or international standards;

6.1.4 to develop mechanisms for continued information exchange as and when needed;

資料 1

6.1.5 to review the MRA every five (5) years or earlier, if necessary; and

6.1.6 to do any other matters related to this MRA.

6.2 The AJCCD shall formulate the mechanism to carry out its mandate.

ARTICLE VII MUTUAL EXEMPTION

7.1 The ASEAN Member States recognise that any arrangement which would confer exemption from further assessment by the PDRA of the Host Country may be concluded only with the involvement and consent of the PDRA.

7.2 The ASEAN Member States note that the PDRA of the Host Country has the statutory responsibility of protecting the health, safety, environment, and welfare of the community within its jurisdiction, and may require the Foreign Dental Practitioners seeking the right to practise in the Host Country to submit themselves to some form of supplementary requirements or assessment.

7.3 The ASEAN Member States recognise that such requirements or assessment shall provide the PDRA of the Host Country with a sufficient degree of confidence that the Foreign Dental Practitioners concerned:

7.3.1 are equipped with the necessary skills and expertise consistent with the dental practice, general and/or specialized, that they intend to carry out and undertake in the Host Country;

7.3.2 understand the general principles behind applicable Professional and Ethical Codes of Conduct and standards of dental practice in the Host Country, and demonstrate an ability to apply such principles in carrying out dental practice in the Host Country; and

7.3.3 are familiar with the Domestic Regulations that govern the operation of dental practice in the Host Country.

ARTICLE VIII DISPUTE SETTLEMENT

資料 1

6.1.5 to review the MRA every five (5) years or earlier, if necessary; and

6.1.6 to do any other matters related to this MRA.

6.2 The AJCCD shall formulate the mechanism to carry out its mandate.

ARTICLE VII MUTUAL EXEMPTION

7.1 The ASEAN Member States recognise that any arrangement which would confer exemption from further assessment by the PDRA of the Host Country may be concluded only with the involvement and consent of the PDRA.

7.2 The ASEAN Member States note that the PDRA of the Host Country has the statutory responsibility of protecting the health, safety, environment, and welfare of the community within its jurisdiction, and may require the Foreign Dental Practitioners seeking the right to practise in the Host Country to submit themselves to some form of supplementary requirements or assessment.

7.3 The ASEAN Member States recognise that such requirements or assessment shall provide the PDRA of the Host Country with a sufficient degree of confidence that the Foreign Dental Practitioners concerned:

7.3.1 are equipped with the necessary skills and expertise consistent with the dental practice, general and/or specialized, that they intend to carry out and undertake in the Host Country;

7.3.2 understand the general principles behind applicable Professional and Ethical Codes of Conduct and standards of dental practice in the Host Country, and demonstrate an ability to apply such principles in carrying out dental practice in the Host Country; and

7.3.3 are familiar with the Domestic Regulations that govern the operation of dental practice in the Host Country.

ARTICLE VIII DISPUTE SETTLEMENT

資料 1

8.1 ASEAN Member States shall at all times endeavour to agree on the interpretation and application of this MRA and shall make every attempt through communication, dialogue, consultation and cooperation to arrive at a mutually satisfactory resolution of any matter that might affect the implementation of this MRA.

8.2 The ASEAN Protocol on Enhanced Dispute Settlement Mechanism, done at Vientiane, Lao PDR on 29 November 2004, shall apply to disputes concerning the interpretation, implementation, and/or application of any of the provisions under this MRA upon exhaustion of the mechanism in Article 8.1.

ARTICLE IX AMENDMENTS

9.1 Any provision of this MRA may only be amended by mutual written agreement by the Governments of all ASEAN Member States.

9.2 Notwithstanding Article 9.1, any ASEAN Member State may amend its PDRA listed in Article 2.7 as and when necessary without the mutual agreement of the other ASEAN Member States. Any amendment shall be communicated to the other ASEAN Member States through the ASEAN Secretariat in writing.

ARTICLE X FINAL PROVISIONS

10.1 The terms and definitions and other provisions of the GATS and AFAS shall be referred to and shall apply to matters arising under this MRA for which no specific provision has been made herein.

10.2 This MRA shall enter into force six (6) months after the signing of this MRA by all ASEAN Member States. Any ASEAN Member State that wishes to defer implementation of this MRA shall notify the ASEAN Secretariat in writing of its intention within 6 months from the date of signature and the ASEAN Secretariat shall thereafter notify the rest of the ASEAN Member States. The deferment shall be effective upon notification by the ASEAN Secretariat to the other ASEAN Member States.

10.3 Any ASEAN Member State which has, pursuant to Article 10.2 of this MRA, given notice of deferment of its implementation, shall notify the ASEAN Secretariat of the

資料 1

indicated date of implementation of this MRA, which shall not be later than 1 January 2010. The ASEAN Secretariat shall thereafter notify the rest of the ASEAN Member States of the indicated date of implementation of this MRA. An ASEAN Member State which does not notify the ASEAN Secretariat of its date of implementation by 1 January 2010 shall be bound to implement this MRA on 1 January 2010.

10.4 This MRA shall be deposited with the ASEAN Secretariat, who shall promptly furnish a certified copy thereof to each ASEAN Member State.

IN WITNESS WHEREOF, the undersigned, being duly authorised thereto by their respective Governments, have signed this ASEAN Mutual Recognition Arrangement on Dental Practitioners.

DONE at Cha-am, Thailand, this Twenty Sixth Day of February in the Year Two Thousand and Nine, in a single original copy in the English Language.

For Brunei Darussalam:

LIM JOCK SENG Second Minister of Foreign Affairs and Trade

For the Kingdom of Cambodia:

CHAM PRASIDH Senior Minister and Minister of Commerce

For the Republic of Indonesia:

資料 1

MARI ELKA PANGESTU Minister of Trade

For the Lao People's Democratic Republic:

NAM VIYAKETH Minister of Industry and Commerce

For Malaysia:

TAN SRI MUHYIDDIN YASSIN Minister of International Trade and Industry

For the Union of Myanmar:

U SOE THA Minister for National Planning and Economic Development

For the Republic of the Philippines:

PETER B. FAVILA Secretary of Trade and Industry